

ガスこんろ等の事故の防止について（注意喚起）

NITE製品安全センターに通知された製品事故情報のうち、ガスこんろ等（※1）の事故は、事故発生日で見ると平成18年度から平成22年度の5年間に1,489件ありました（※2）。被害の状況は、死亡事故が58件、重傷事故が34件、軽傷事故が303件でした。1室以上の火災は、843件ありました。

ガスこんろ等の事故1,489件のうち、「専ら誤使用や不注意な使い方と考えられるもの（事故原因区分E）」による事故が1,103件あり、死亡・重傷など重篤な事故の割合が高くなっています。この1,103件を現象別に分析すると、次のような事故が多く発生しています。

- ① 天ぷら調理中に放置
- ② こんろやグリルに火をつけたまま放置
- ③ 未接続のガス栓を開いたため漏れたガスに引火
- ④ グリルで調理中に庫内の皿にたまっていた油脂に着火
- ⑤ 接続が不完全なため漏れたガスに引火
- ⑥ 着衣に着火

ガスこんろ等による事故は、「専ら誤使用や不注意な使い方と考えられるもの」による事故が7割を超えるため不適切な使用をしないこと及び調理油過熱防止装置、立ち消え安全装置などの安全装置が付いたこんろ（※3）を使用することによって防げる事故が多くあります。このような状況に鑑み、使用者が、正しく製品を使用し事故を防止するため注意喚起することとしました。

（※1）ガスこんろ等には、ガスこんろのグリル部、ガス栓、継手及びガスホース等の接続具も含む。

ただし、カセットこんろは除く。

（※2）平成23年12月31日現在、重複、対象外情報を除いた件数

（※3）最終ページの参考資料を参照ください

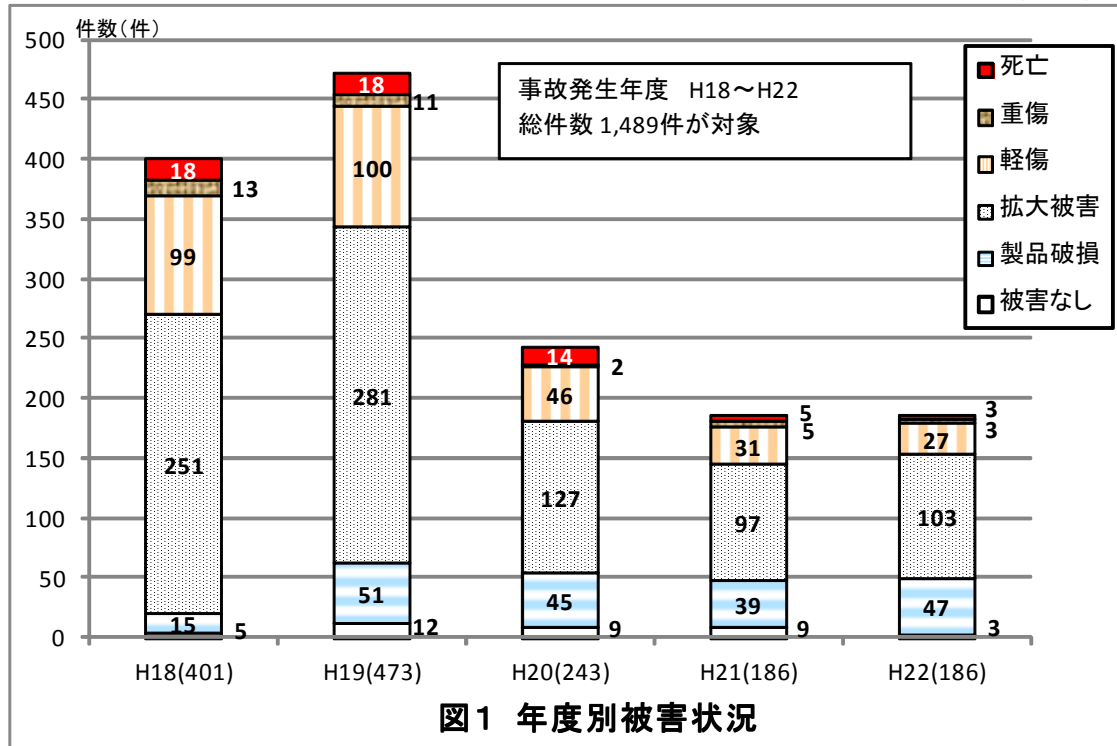
1. ガスこんろ等の事故について

(1) 年度別の被害状況について

NITE製品安全センターに通知された製品事故情報のうち、ガスこんろ等の事故は、事故発生日で見ると平成18年度から平成22年度の5年間に1,489件（重大事故報告制度が開始された平成19年度から平成22年度の4年間では379件（うち、重大製品事故として受け付けたものは26件））ありました。年度別被害状況を図1に示します。

被害の状況は、死亡事故が58件（死亡者67人）、重傷事故が34件（重傷者42人）、軽傷事故が303件（軽傷者394人）でした。ガスこんろ等の事故では人的被害が1,489件中395件（26.5%）発生しています。

(※4)



(※4) 被害状況で「死亡」、「重傷」、「軽傷」と同時に「拡大被害」や「製品破損」が発生している場合は、「拡大被害」や「製品破損」はカウントせず。

(2) ガスこんろによる出火件数について

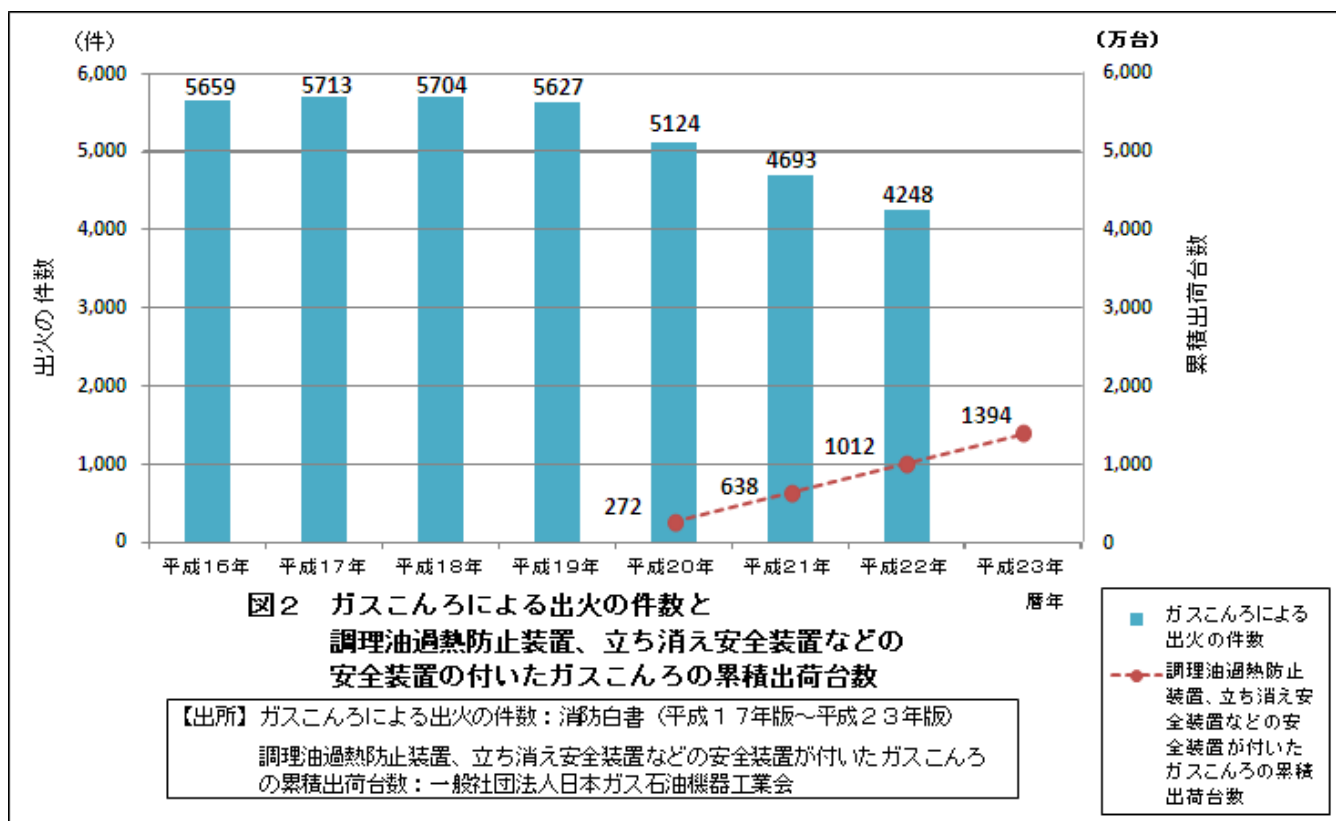
ガスこんろによる出火の件数と調理油過熱防止装置、立ち消え安全装置などの安全装置が付いたガスこんろの累積出荷台数を図2に示します。

ガスこんろによる出火事故が、毎年5,000件以上発生している現状を受けて、経済産業省は、天ぷら等揚げ物調理中の出火事故を「予見可能な誤使用」と位置づけました。これに伴いガスこんろは、「ガス事業法」及び「液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律」の規制対象品目として指定され、平成20年10月1日以降に製造・輸入された製品は、バーナー全口に調理油過熱防止装置と立ち消え安全装置の装着及びPSマークの表示が義務付けられました。

このため平成16年から平成19年まで年間約5,700件起きていたガスコンロによる火災が、平成20年以降は、着実に減少していると推定されます。

参考：経済産業省のホームページ

(http://www.meti.go.jp/product_safety/producer/shouan/kankeisiryuu.pdf)

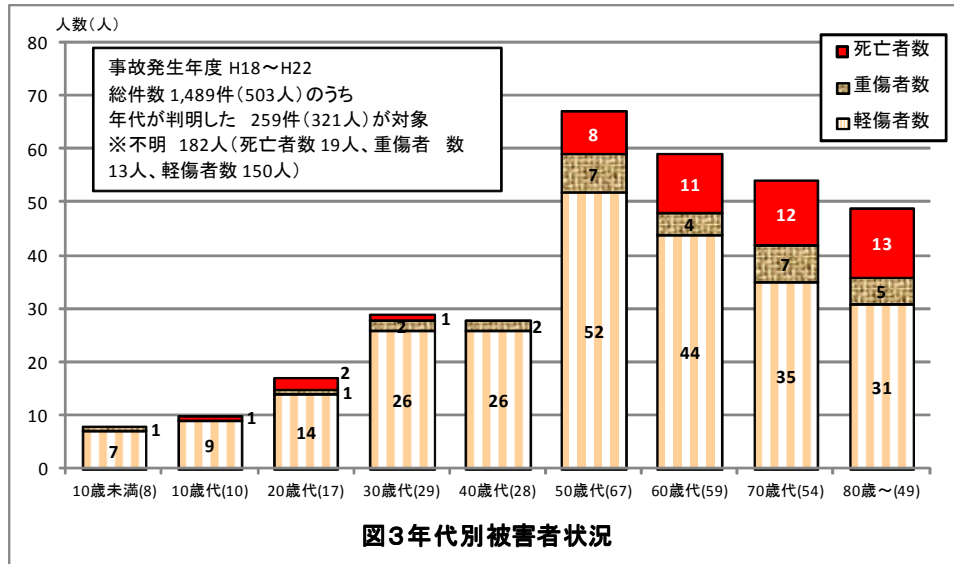


(3) 事故の年代別被害者数について

人的被害があった事故395件の被害者503人のうち、年代が判明した321人(事故件数259件)について、年代別被害者数を図3に示します。

被害者は、50歳代に最も多く、年齢が高くなるほど死亡者の割合が、高くなっています。

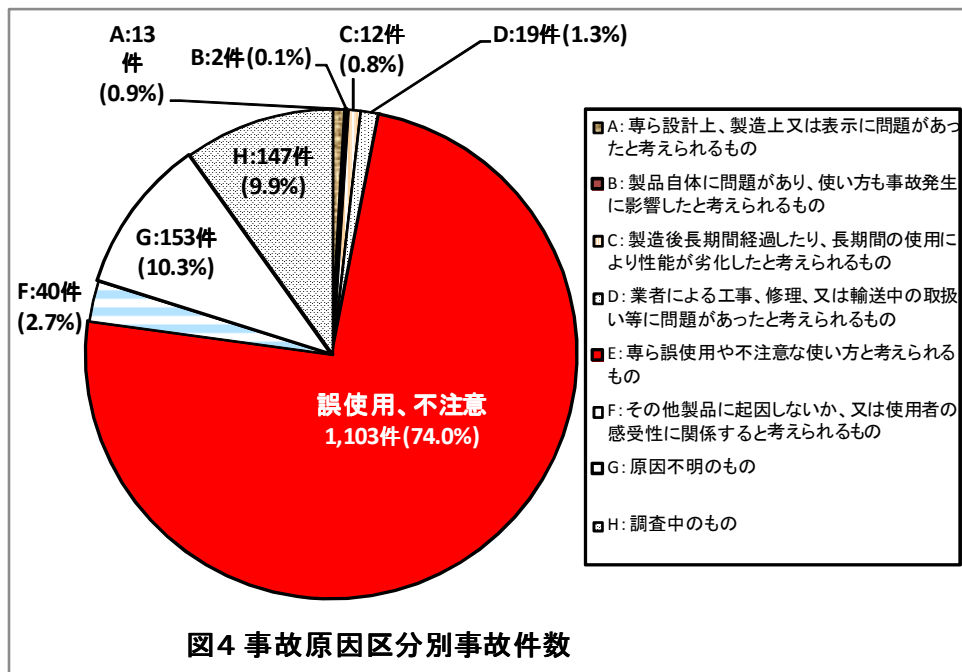
(※5)



(※5) 被害状況で「死亡」、「重傷」、「軽傷」と同時に「拡大被害」や「製品破損」が発生している場合は、「拡大被害」や「製品破損」にはカウントせず。

(4) 事故原因区分別事故件数について

ガスこんろ等の事故1,489件について、事故原因区分別事故件数を図4に示します。「製品に起因する事故(事故原因区分A、B及びC)」は、1.8%と少なく、件数のうち74.0%は、消費者の専ら誤使用や不注意な使い方と考えられるもの(事故原因区分E)と整理されるものです。



(5) 事故原因区分別被害状況について

ガスこんろ等の事故 1, 489 件について、事故原因区分別被害状況を表 1 に示します。

「専ら誤使用や不注意な使い方と考えられるもの（事故原因区分：E）」ではあっても死亡や重症といった重篤な被害が、多く発生しています。

表 1 事故原因区分別被害状況

(※6)

被害状況 事故原因区分	人的被害			物的被害		被害なし	合計
	死亡	重傷	軽傷	拡大被害	製品破損		
A：専ら設計上、製造上又は表示に問題があったと考えられるもの			3 (3)	2	8		13 (3)
B：製品自体に問題があり、使い方も事故発生に影響したと考えられるもの			1 (1)			1	2 (1) [0]
C：製造後長期間経過したり、長期間の使用により性能が劣化したと考えられるもの				5	7		12 (0) [0]
D：業者による工事、修理、又は輸送中の取扱い等に問題があったと考えられるもの		2 (3) [1]	6 (6)	8	3		19 (9) [1]
E：専ら誤使用や不注意な使い方と考えられるもの	34 (36) [34]	18 (22) [15]	237 (304) [163]	680 [497]	108	26	1,103 (362) [709]
F：その他製品に起因しないか、又は使用者の感受性に関係すると考えられるもの	4 (5) [4]	4 (4) [1]	6 (7)	15 [3]	8	3	40 (16) [8]
G：原因不明のもの	15 (20) [14]	3 (6) [1]	22 (31) [8]	60 [22]	45	8	153 (57) [45]
H：調査中のもの	5 (6) [5]	7 (7) [3]	28 (42) [20]	89 [52]	18		147 (55) [80]
合計	58 (67) [57]	34 (42) [21]	303 (394) [191]	859 (0) [574]	197 (0) [0]	38 (0) [0]	1,489 (503) [843]

(※6) 平成23年12月31日現在、重複、対象外情報を除いた件数。被害状況別で「死亡」、「重傷」、「軽傷」と同時に「拡大被害」や「製品破損」が発生している場合は、「拡大被害」や「製品破損」にはカウントせず。()の数字は被害者の人数、[]の数字は事故件数の内数で1室以上の火災の件数。

(6) 事故の現象別被害状況について

「専ら誤使用や不注意な使い方と考えられるもの（事故原因区分E）」1, 103件について現象別被害状況を表2に示します。①天ぷら調理中に放置と②火をつけたまま放置による事故が特に多く発生し、重篤な被害が出ています。また、⑥着衣に着火では、死亡事故につながる割合が高くなっています。

表2 事故の現象別被害状況

(※7)

被害状況 現象の内容	人的被害			物的被害		被害 無し	合計
	死亡	重傷	軽傷	拡大 被害	製品 破損		
☆①天ぷら調理中に放置	10 (11) [10]	8 (10) [8]	124 (162) [106]	311 [273]	3	5	461 (183) [397]
☆②こんろやグリルに火をつけたまま放置	12 (13) [12]	6 (7) [6]	59 (81) [49]	259 [197]	28	9	373 (101) [264]
③未接続のガス栓を開いたため漏れたガスに引火		1 (1)	9 (11)	31 [1]	9	1	51 (12) [1]
④グリルで調理中に庫内の皿にたまっていた油脂に着火			1 (1) [1]	19 [2]	17	5	42 (1) [3]
⑤接続が不完全なため漏れたガスに引火			1 (1)	9 [1]	14		24 (1) [1]
⑥着衣に着火	9 (9) [9]	(1)	5 (5) [2]				14 (15) [11]
⑦壁が炭化し、加熱によって低温発火(※8)	1 (1) [1]			13 [10]			14 (1) [11]
⑧点火操作を繰り返したため、滞留したガスに引火		1 (1)	3 (4) [1]	1 [1]	1		6 (5) [2]
⑨迅速継手が偶発的に押されて接続が不完全になったため漏れたガスに引火				3	3		6 (0) [0]
その他	2 (2) [2]	2 (2) [1]	35 (39) [4]	34 [12]	33	6	112 (43) [19]
合計	34 (36) [34]	18 (22) [15]	237 (304) [163]	680 (0) [497]	108 (0) [0]	26 (0) [0]	1,103 (362) [709]

☆：調理油過熱防止装置、立ち消え安全装置などの安全装置が付いたこんろを使用した場合、事故を防ぐことができる可能性の高いもの

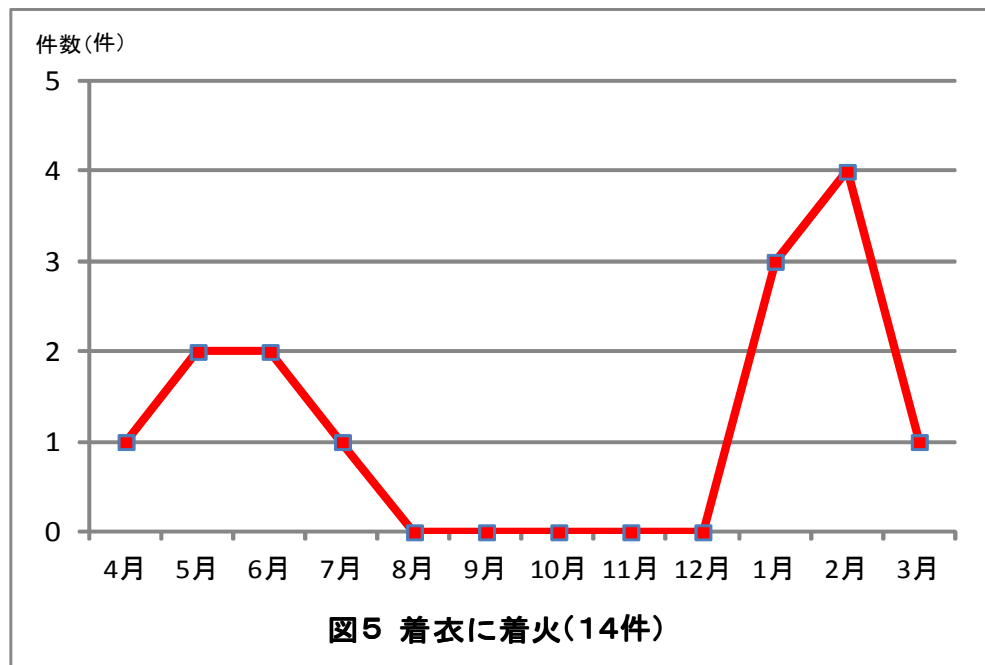
(※7) 平成23年12月31日現在、重複、対象外情報を除いた件数。被害状況別で「死亡」、「重傷」、「軽傷」と同時に「拡大被害」や「製品破損」が発生している場合は、「拡大被害」や「製品破損」にはカウントせず。()の数字は被害者の人数、[]の数字は事故件数の内数で1室以上の火災の件数。

(※8) 木材は長時間にわたって熱が加わるなど、条件によっては100℃くらいの熱

で発火することがあります。

(7) 着衣に着火の事故の月別発生件数

着衣に着火の月別発生件数のグラフを図5に示します。着衣に着火の事故は1～2月に多く発生しています。



2. 事故事例の概要について

ガスこんろ等の事故について、事故の現象別の事例を示します。

① 天ぷら調理中に放置

○平成20年11月24日（大阪府、70歳代・女性、死亡）

（事故内容）

木造2階建て住宅から出火し、棟続きの店舗兼住宅9戸のうち5戸を焼き、1人が死亡、2人がやけどを負った。

（事故原因）

ガスこんろに天ぷら鍋をかけたまま放置したため、鍋の油が過熱し、火災に至ったものと推定される。（安全装置の状況：不明）

○平成21年4月25日（山形県、年代・性別不明、製品破損）

（事故内容）

揚げ物をするため温度センサーが付いた側のガスこんろで油を加熱中にその場を離れていたところ、なべから発火していた。

（事故原因）

使用していたなべの鍋底に著しい油汚れ等が付着しており、油の加熱を温度センサーが検知できない状態で、その場を離れていたために火災に至ったものと推定される。（安全装置の状況：調理油過熱防止装置付こんろバーナー）

- ② こんろやグリルに火をつけたまま放置
○平成22年1月27日（愛知県、年代・性別不明、拡大被害）
（事故内容）
ガスこんろの火を消し忘れたため出火し、住宅を全焼した。
（事故原因）
ガスこんろにやかんをかけたまま放置したため過熱し、周囲の可燃物に燃え移り、火災に至ったものと推定される。（機器安全装置の状況：不明）
- ③ 未接続のガス栓を開いたため漏れたガスに引火
○平成21年5月15日（栃木県、年代・性別不明、拡大被害）
（事故内容）
ガスこんろを使用中、ガス栓とガス置き台が焦げた。
（事故原因）
2口ガス栓のうち、販売時には取り付けていなかった樹脂製キャップが付けられた方のガス栓を誤まって開放したことから、ガスヒューズが作動しない程度のガスが漏れ、ガスこんろの火が引火したものと推定される。（安全装置の状況：ヒューズ付ガス栓）
- ④ グリルで調理中に庫内の皿にたまっていた油脂に着火
○平成20年2月14日（岐阜県、20歳代・男性、軽傷）
（事故内容）
鉄筋2階建て集合住宅の一室から出火して、同室を全焼し、隣人1人が頭などに軽いやけどを負った。
（事故原因）
グリル排気口付近に堆積した油脂分に、こんろの火が着火して火炎が上がったため、古着で消しようとしたところ火が古着に燃え移り、火災に至ったものと推定される。（安全装置の状況：グリル過熱防止装置なし）
- ⑤ 接続が不完全なため漏れたガスに引火
○平成21年4月18日（大阪府、年代・性別不明、拡大被害）
（事故内容）
ガスこんろの裏から火が出て、迅速継手とゴム管の一部が熔融した。
（事故原因）
迅速継手にガス漏れは認められず、ガスこんろのホースエンドの赤線まで挿入すべきところ、挿入が不十分であったため、接続部分からガスが漏れ、こんろの火が引火したものと推定される。（安全装置の状況：不明）
- ⑥ 着衣に着火
○平成20年7月5日（北海道、70歳代・男性、死亡）
（事故内容）
ガスこんろを使用してやかんで湯を沸かしていたところ、こんろの火が衣類に燃え移り、1人が死亡した。

(事故原因)

ガスこんろに接近しすぎたため、こんろの火が着衣に着火し、火災に至ったものと推定される。(安全装置の状況：不明)

⑦ 壁が炭化し、加熱によって低温発火

○平成18年11月20日(三重県、60歳代・男性、死亡)

(事故内容)

木造2階建て住宅から出火して、同住宅を全焼し、1人が死亡した。

(事故原因)

1口ガスこんろを壁の近くに設置していたため、木製の壁がこんろの熱により炭化し、当日の加熱により、炭化した壁が低温発火し、火災に至ったものと推定される。(安全装置の状況：不明)

3. ガスこんろ等の事故の防止について

NITEに通知された製品事故情報では、平成18年度～22年度に発生した死亡及び重傷事故が合わせて92件(1,489件中約6%)となっています。

死亡・重傷の重篤な事故は、誤使用・不注意などの製品に起因しない事故で発生しており、ガスこんろの使い方に注意することで、事故の防止ができると考えられます。

ガスこんろを使用する場合には、取扱説明書をよく読み、ガスこんろ本体に記載されている注意事項を守るとともに、次の事項にご注意ください。

- ① 調理中はその場を離れないでください。特に天ぷらなど揚げ物をしている時は、絶対にその場を離れないでください。離れる時は必ず火を消してください。
- ② ガスこんろの周囲には燃えやすいタオル、ふきんや樹脂製の調味料容器・調理道具等を置かないでください。
- ③ 未接続のガス栓を誤開放しないように注意してください。古いガス栓の場合、ガス会社に依頼して、安全アダプターを付けてもらったり、しばらくの間使わない場合には、誤操作防止キャップや閉栓カバーを付けてもらうなど誤開放の防止対策をしてください。
- ④ ガスこんろは、煮こぼれや油よごれをこまめにふき取ったり、グリルの使用後や連続使用する際には、グリル受け皿や焼き網、下火カバーなどにたまった脂や食品くずを取り除いてください。
- ⑤ ガスコード等の接続は正しく行ってください。
- ⑥ 服の袖などを近づけると火が移ることがあるので近づき過ぎないでください。特に火の上には絶対身体をかざさないでください。火が見えていなくてもバーナーの上は高温であり着火しやすくなっています。ガスこんろの奥に手を伸ばすときは、必ずバーナーの火を消してください。
- ⑦ ガスこんろを設置する時は、壁から15cm以上離してください。こんろと壁の距離が15cm未満の場合は必ず防熱板を取り付けてください。壁の中の木材が炭化して燃えるおそれがあります。

1. ガスこんろの規制対象化について

ガスこんろは、「ガス事業法」及び「液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律」の規制対象品目として指定され、平成20年10月1日以降に製造・輸入された製品は、バーナー全口に「①調理油過熱防止装置」と「②立ち消え安全装置」の装着及びPSマークの表示が義務付けられました。

参考：経済産業省のホームページ

(http://www.meti.go.jp/product_safety/producer/shouan/kankeisiryou.pdf)

2. Siセンサーコンロについて

平成20年10月1日以降に製造・輸入された製品は、「ガス事業法」及び「液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律」により全てのバーナー部に①調理油過熱防止装置と②立ち消え安全装置の装着及びPSマークの表示が義務づけられ、販売猶予期間は平成21年9月30日まででしたが、工業団体によって前倒しで対策が取られ、平成20年4月より製造されるガスこんろ(※)は、すべてのバーナーに以下の①～④の機能を搭載したSiセンサーコンロとなりました。

(※) 持ち運びのできる卓上型一口ガスこんろを除く、すべての家庭用ガスこんろ

(1) 全機種に標準装備される機能

○安全機能

① 調理油過熱防止装置 (天ぷら油過熱防止装置)

こんろのセンサーが鍋底の温度を感知し、約250℃になると自動的に消火して油の発火を防ぎます。

② 立ち消え安全装置

煮こぼれや吹きこぼれ、強風などで火が消えた時、自動的にガスを止めます。

③ こんろ消し忘れ消火機能、グリル消し忘れ消火機能

消し忘れても、点火後一定時間が経過した時点で自動消火します。

○便利機能

④ 早切れ防止機能

炒めものなどの場合には、鍋底が約250℃になっても消火せずに、火力の「大」「小」を繰り返して早切れを防ぎます。

(2) 一部の機種に装備される機能

○安全機能

① 焦げ付き消火機能

煮もの調理時に、焦げつきを検知すると初期段階において自動消火します。

② 鍋なし検知機能

鍋がのっていない状態では点火せず、使用中に鍋をはずすと自動で弱火になり、一定時間後消火します。

③ グリル過熱防止装置

グリル内の温度が上がりすぎないように自動でガスを止めます。

④ グリル排気口からの炎あふれ防止機構

調理物等に着火してもグリルの排気口から炎があふれ出ない工夫が施されており、火災等の被害拡大を防止します。

○便利機能

⑤ センサー解除機能

センサー解除ボタンを押して「センサー解除」すれば焼きもの（ぎんなんや豆のいりもの）などの高温調理ができます。

（注意）「センサー解除」中は揚げもの調理をしないでください

⑥ 油温度調節機能

設定時間になるまで加熱した後、自動的に強火・弱火を繰り返して適温を保ち、揚げものや焼きものを上手においしく仕上げる機能です。

⑦ 自動炊飯機能

火加減を自動調節。炊飯専用鍋とのセットでごはんが炊けます。

⑧ 湯沸かし機能

お湯が沸いたら自動的に消火します。一定時間保温したあと、自動消火するタイプもあります。

参考：一般社団法人日本ガス石油機器工業会のホームページ

(<http://www.jgka.or.jp/consumer/gasu-riyou/introduction/si/index.html>)

あんしん高度化ガス機器普及開発研究会のホームページ

(<http://www.gas.or.jp/collabo/anshinken/newrelease/table.html#function>)